



11.23 勤労感謝の日  
[日・祝]

平成26年度 茅野市民館主催事業「みんなのひろば」

# パノラマ・チノラマ

茅野の〈人〉と〈場所〉をめぐる ツアー型パフォーマンス

街を歩いてみてみよう。



近くにあるけど気付かない、そんな場所に少しフォーカス。  
イヤフォンガイドを聞きながら、のぞく世界は遠くて近い。  
そこから見えるパノラマは、あなたの頭をマッサージ。

おまけに心もマッサージ。

見慣れた街が少し違って見えてくるかも。

さあ、街を歩いてみてみよう。



絵：ヒサイ アサコ

① 11:00～ ② 14:00～

集合場所

茅野市民館

【所要時間】1時間30分ほど ※途中休憩があります

■構成・演出：じゅんじゅん ■演出アシスタント：久井麻世 ■出演者：茅野の人々

主催：茅野市民館指定管理者 株式会社地域文化創造

制作協力：じゅんじゅんSCIENCE

後援：茅野市、茅野市教育委員会、茅野市社会福祉協議会、社会福祉法人 この街福祉会、NPO法人 ハヶ岳福祉農園、信濃毎日新聞社、長野日报社、信州・市民新聞グループ(7紙)、エルシーブイ株式会社、月刊ぶらざ、JR東日本 長野支社

協力：NPO法人やまびこ会 ひまわり作業所、社会福祉法人 愛泉会 精明学園、雷鳥の会、t-aqua

助成：平成26年度文化庁 劇場・音楽堂等活性化事業



この企画は、茅野市民館を出発して、歩いて街をめぐるウォーキングツアーです。ふだん通り過ぎたり見過ごしている場所や事柄、そこで暮らしを営む人について、イヤフォンガイドの案内を聞きながら、実際に見て、聞いて、感じるツアーです。めぐる先々には、五感をくすぐる「福祉」の世界が展開します。劇場が街に飛び出したような、おもいがけない楽しいことが起こるかも…！ 乞う、ご期待！



茅野市民館 平成26年度主催事業「みんなのひろば」

## パノラマ チノラマ 茅野の〈人〉と〈場所〉をめぐるツアー型パフォーマンス

日時: 2014年11月23日[日・祝] ①11:00~ ②14:00~

(所要時間: 1時間30分ほど ※途中休憩があります)

構成・演出: じゅんじゅん(ダンサー、演出家、振付家)

演出アシスタント: 久井麻世(ダンサー)

出演者: 茅野の人々

定員: 15名(各回) ※先着順

参加費: 800円 ※実施後に「みんなのひろば」プロジェクト記録集をお届けします。

※動きやすくあたたかい服装、歩きやすい靴でお越しください。

### 【イヤフォンガイドについて】

ツアーの際に、おひとりにひとつずつ、イヤホンガイドを貸し出します。音を聞き取ることが難しい方は、事前にお問い合わせください。



【お申込み・お問合せ】

### 茅野市民館

事務室窓口にご直接おいでいただくか、お電話、メールにてお申込みください。

〒391-0002 茅野市塚原一丁目1番1号

■Tel. 0266-82-8222 ■Fax. 0266-82-8223 ■メール [hiroba@chinoshiminkan.jp](mailto:hiroba@chinoshiminkan.jp)

※活動の様子をこちらのホームページでご紹介しています。→ <http://www.chinoshiminkan.jp/hiroba/index.html>

### じゅんじゅん (高橋 淳)

プロフィール

横浜出身。学生時代よりママ、ダンスを始め、1995年「ムネヨ」を結成。

2006年の活動休止まで、日本と世界を駆けまわす。

その後カンパニー「じゅんじゅん SCIENCE」を立ち上げ、精力的に公演・ワークショップ

活動を展開。途中ドイツ、ベルリンに1年住み、ドイツと日本を命に

繋がりながら楽しいことを感じて活動中。

好きなものは焼鳥とチーズ。あと人と話すこと。

集りが狂ったエジプト、これが狂ったイラク。あいつは狂った韓国。



### —— 茅野市民館「みんなのひろば」とは ——

茅野市民館を起点に、さまざまな環境の人がつながり、みんなで楽しむことを試みるアートプロジェクトです。「障がいの有無に関わらず、みんなで楽しむことのできる企画を茅野市民館で実現したい」という市民4名の福祉とアートに関する事業提案をもとに、企画が始まりました。地域の現状をリサーチし、提案者と、地域で福祉にかかわる人、支援にたずさわる人とが会する「いどばた会議」を経て、アーティスト(じゅんじゅん氏)が茅野に滞在して地域取材をすすめ、企画内容を考えることになりました(アーティスト・イン・レジデンス)。地域に向き「ひと・もの・こと」に触れ、交流するなかで、今回の「パノラマ チノラマ」ツアーを開催することになりました。

【この企画は「市民提案事業」です】茅野市民館では、「市民一人ひとりが主人公になれる場」として、文化複合施設の特性を生かした〈鑑賞〉〈普及育成〉〈創造〉〈交流〉に関するさまざまな事業企画の提案を市民から募集し、実現しています。